

現場説明書（技術的事項）

工事名 新涯放課後児童クラブ便所棟新築工事

1 現場の状況

- (1) 工事場所は、福山市立新涯小学校敷地内（新涯放課後児童クラブ棟横）です。
- (2) 小学校及び放課後児童クラブの業務中の工事になります。

2 留意事項

- (1) 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- (2) 工事期間中は安全に細心の対策を講じてください。
構内管理については、監督員との協議、調整を十分に行ってください。
特に搬入出時の車両の通行には、細心の注意を払ってください。
- (3) 重機や工事車両出入時は、徐行運転及び一旦停止を行ってください。
- (4) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- (5) 工事施工前には、事前に既存の施設状況を確認し、監督者と協議を行ってください。また、施設を運用しながらの施工となるため、施設管理者と協議し、工程管理を十分検討し、承諾を得て施工してください。
- (6) 工事施工上必要となる官公署への手続きは、受注者により速やかに行ってください。
- (7) 実施工程表を、契約後 14 日以内に提出するとともに、速やかに承認函、施工計画書等の承諾を受けてください。
- (8) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。また、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。
- (9) 工事中は、防塵・防音等に努め、必要な養生措置を講じてください。
- (10) 施設の休日について、小学校は土日祝、放課後児童クラブは日祝となっています。また、冬休みの期間は小学校が 2023 年 12 月 23 日から 2024 年 1 月 8 日まで、放課後児童クラブが 2023 年 12 月 29 日から 2024 年 1 月 3 日までとなっています。
- (11) 朝及び夕方の児童の登下校時は、細心の安全対策を行うとともに工事車両等の通行は施設管理者と協議の上行ってください。
- (12) 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

3 別途工事

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生設備工事

4 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。


- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せってください。

5 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

新涯放課後児童クラブ便所棟新築工事

図面番号	図面名称
A-1	表紙・図面リスト
A-2	建築工事 特記仕様書 No. 1
A-3	建築工事 特記仕様書 No. 2
A-4	建築工事 特記仕様書 No. 3
A-5	建築工事 特記仕様書 No. 4
A-6	建築工事 特記仕様書 構造関係
A-7	鉄筋工事仕様書 No. 1
A-8	鉄筋工事仕様書 No. 2
A-9	配置図
A-10	平面図 屋根伏図
A-11	展開図 立面図 建具表
A-12	断面図 詳細図

		工事名	新涯放課後児童クラブ便所棟新築工事			 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課						図面No.
		図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	2023年10月	主務	課員	次長	担当課長	課長	部長	A-1

福山市建築工事特記仕様書

1 工事概要
1. 工事名称 新運放課後児童クラブ便所棟新築工事
2. 工事場所 福山市新運町三丁目1番1号
3. 用途地域 第一種住居地域
4. 防火地域 防火地域 準防火地域 指定なし
5. 工事種別 新築 増築 改修
6. 敷地面積 17,667.00㎡
7. 建物概要 1) 構造 鉄筋コンクリート造 2) 面積 建築面積 12.50㎡ 延べ面積 10.00㎡
3) 付属施設
8. 別途工事 電気設備工事 昇降機設備工事 給排水衛生設備工事 カーテン取付工事 空調調和設備工事 植栽工事 ガス設備工事

II 建築工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 章、項目は番号で○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。
3. 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)
引渡し後点検(第1次点検) 引渡し後の概ね1年後
引渡し後点検(第2次点検) 引渡し後の概ね2年後

⑧ 施工中の安全確保
⑨ 発生材の処理
⑩ 建築材料等
⑪ 特別な材料の工法
⑫ 技能士
⑬ 化学物質の濃度測定
⑭ アスベスト含有成形材の処理等
⑮ 工事及び完成写真
⑯ 完成時の提出図書

⑰ 保証書
⑱ 仮設工事
⑲ 状況確認
⑳ 埋戻し及び盛土
㉑ 建設発生土の処理
㉒ 地業工事
㉓ 鉄筋工事
㉔ コンクリート工事
㉕ 鉄骨工事

⑳ 防排水工事
㉖ 改質アスファルトシート防水
㉗ 合成高分子系ルーフィングシート防水
㉘ 塗膜防水
㉙ ケイ酸系塗布防水
㉚ 漏水試験

記号・略号
(一般) BM……ベンチマーク GL……基準地盤面 F……基準床面 W……内法巾 H……内法高
(構造材料) SRC……鉄骨鉄筋コンクリート RC……鉄筋コンクリート PC……プレキャストコンクリート ALC……軽量気泡コンクリート
(建具) AD……アルミ製ドア AW……アルミ製窓 SD……鋼製ドア SW……鋼製窓 SG……鋼製ガラリ

⑰ 保証書
⑱ 仮設工事
⑲ 状況確認
⑳ 埋戻し及び盛土
㉑ 建設発生土の処理
㉒ 地業工事
㉓ 鉄筋工事
㉔ コンクリート工事
㉕ 鉄骨工事

⑰ 保証書
⑱ 仮設工事
⑲ 状況確認
⑳ 埋戻し及び盛土
㉑ 建設発生土の処理
㉒ 地業工事
㉓ 鉄筋工事
㉔ コンクリート工事
㉕ 鉄骨工事

⑰ 保証書
⑱ 仮設工事
⑲ 状況確認
⑳ 埋戻し及び盛土
㉑ 建設発生土の処理
㉒ 地業工事
㉓ 鉄筋工事
㉔ コンクリート工事
㉕ 鉄骨工事

5	フロアリング張り (19.5.2~5)	単層フローリング (19.5.2~5)				
		種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)
6	畳敷き (19.6.2)	種類				
		種別	A種	B種	C種	D種(畳床)
7	せつこうボード その他ボード 及び合板張り (19.7.2~3)	※ 天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。				
		※ 製造所及び製品名				
8	壁紙張り (19.8.2)	建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの				
		施工箇所	種類(製造所)	防火性能の種類		
9	断熱材 (19.9.3~4)	断熱材打込み工法 (19.9.3)				
		材種	種別	厚さ	施工箇所	
10	カーテン及び カーテンレール (20.2.16)	※ 300以上				
		贈幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり	※ 300以上			

11	スクリーン	※ ホワイトスクリーン				
		形式	※ スプリング巻上(ノーショック)式	防火性能の種類		
12	くつふきマット	※ ステンレス製				
		材質	※ 黄銅製	※ アルミ合金製		
13	厨房器具	器具名				
		規格・施工箇所等				
14	ビクチャーレール	※ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量				
		断熱材補修材	断熱材と同材			
15	ブラインドボックス カーテンボックス	※ アルミニウム製				
		表面処理	※ C-1	※ C-2(色別)		
16	消火器ボックス	※ 既製品(図示による)				
		材質	※ 塩化ビニル製	※ 300×300		
17	視覚障がい者用 誘導ブロック	※ 塩化ビニル製 厚さ ※ 7mm (2+5)				
		コンクリート製(厚さ30mm)	※ 磁器質タイル製			
18	家具類	合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量				
		※ F☆☆☆☆				
20	フリーアクセス フロア (20.2.2)	※ 表面仕上材				
		※ 帯電防止性能	※ 漏えい抵抗			
21	排水工 事	※ 既製品(図示による)				
		材質	※ A種1	※ A種1H		
22	路床 (22.2.2~5)	※ 鋼製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		
23	舗装工 事	※ アルミ製				
		スラットの材質	※ アルミニウム合金	※ アルミ(ヘッドレール)		

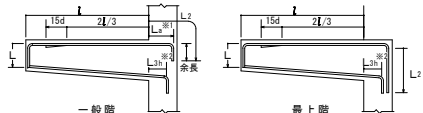
23	補 載 工 事	補載地の確認				
		補載地	※ 行わない			
24	支 柱	※ コウライシバ				
		種類	※ コウライシバ			
25	排水工 事	※ 既製品(図示による)				
		材質	※ 塩化ビニル製	※ 300×300		
26	路 盤	※ 鋼製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		
27	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの材質	※ アルミニウム合金	※ アルミ(ヘッドレール)		
28	透水性	※ アルミ製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		
29	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの材質	※ アルミニウム合金	※ アルミ(ヘッドレール)		
30	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		

23	補 載 工 事	補載地の確認				
		補載地	※ 行わない			
24	支 柱	※ コウライシバ				
		種類	※ コウライシバ			
25	排水工 事	※ 既製品(図示による)				
		材質	※ 塩化ビニル製	※ 300×300		
26	路 盤	※ 鋼製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		
27	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの材質	※ アルミニウム合金	※ アルミ(ヘッドレール)		
28	透水性	※ アルミ製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		
29	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの材質	※ アルミニウム合金	※ アルミ(ヘッドレール)		
30	ア ス フ ルト 舗 装	※ アルミ製				
		スラットの幅	※ 25mm	※ 35mm		

鉄筋工事仕様書 No. 2

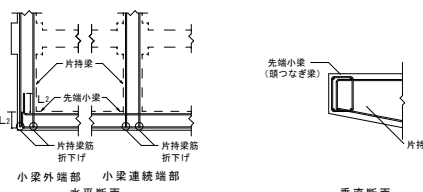
2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



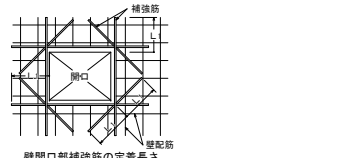
(注) 1. 印は、余長位置を示す。
2. 先端の折曲げ長さLは、梁せいかからかり厚さを除いた長さとする。
3. 図示のない事項は、大梁の項による。
※1. Lの取値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
※2. Lを確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



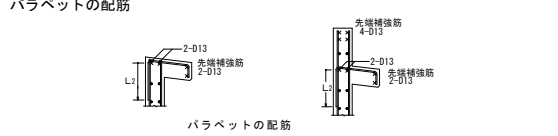
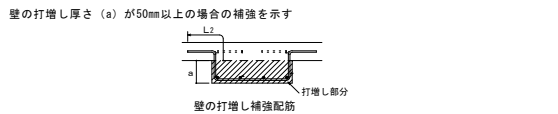
(注) 1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
2. 先端小梁先端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。



3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強筋



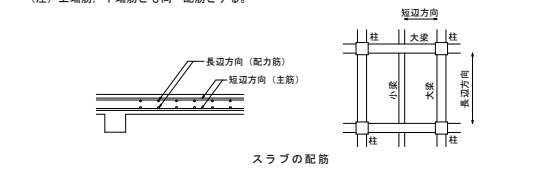
スラブの配筋

1. スラブリの基準配筋

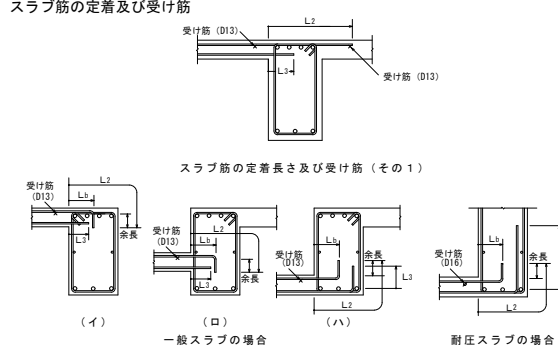
1) スラブリの基準配筋

スラブリの基準配筋		スラブリの基準配筋		スラブリの基準配筋	
配筋種別	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



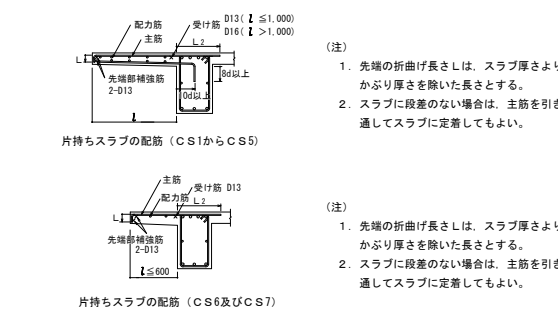
2. スラブリ筋の定着及び受け筋



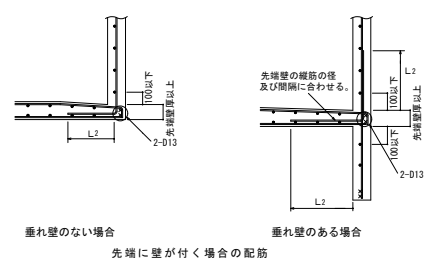
3. 片持ちスラブリの基準配筋

1) 片持ちスラブリの基準配筋

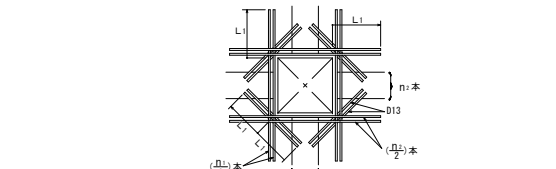
片持ちスラブリの基準配筋			片持ちスラブリの基準配筋		
配筋種別	主筋	配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@ 下 D13-200@	CS5	上 D10-200@ 下 D10-400@	CS6	上 D10, D13-200@ 下 D10-200@
CS2	上 D13-150@ 下 D13-300@				
CS3	上 D10, D13-150@ 下 D10, D13-300@	CS7	上 D10-200@ 下		
CS4	上 D10, D13-200@ 下 D10-200@				



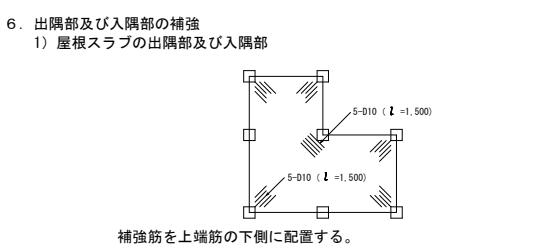
4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



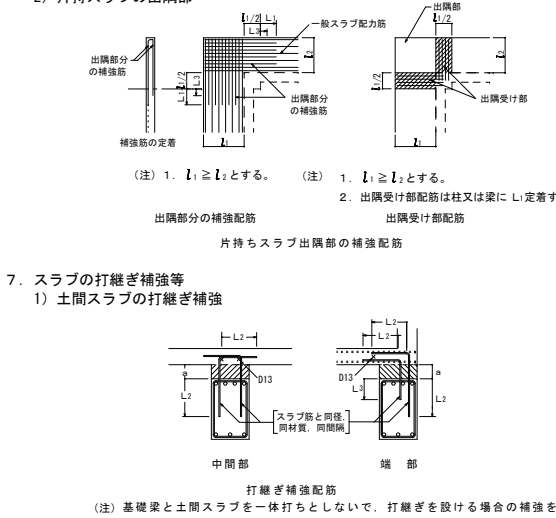
5. スラブリ開口部の補強 (スラブリ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)



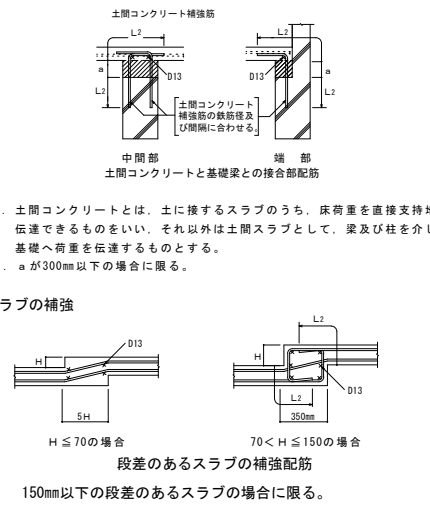
6. 出隅部及び入隅部の補強



7. スラブリの打継ぎ補強等

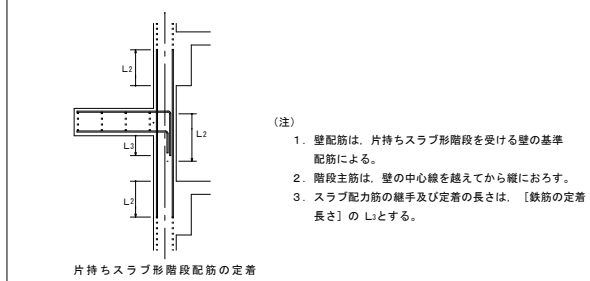
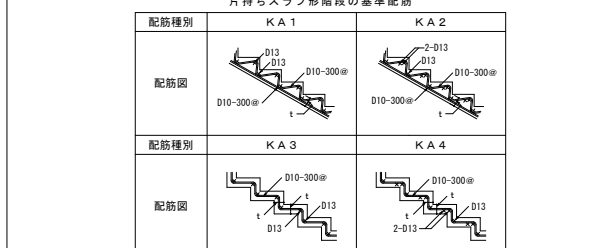


8. 段差のあるスラブリの補強



階段の配筋

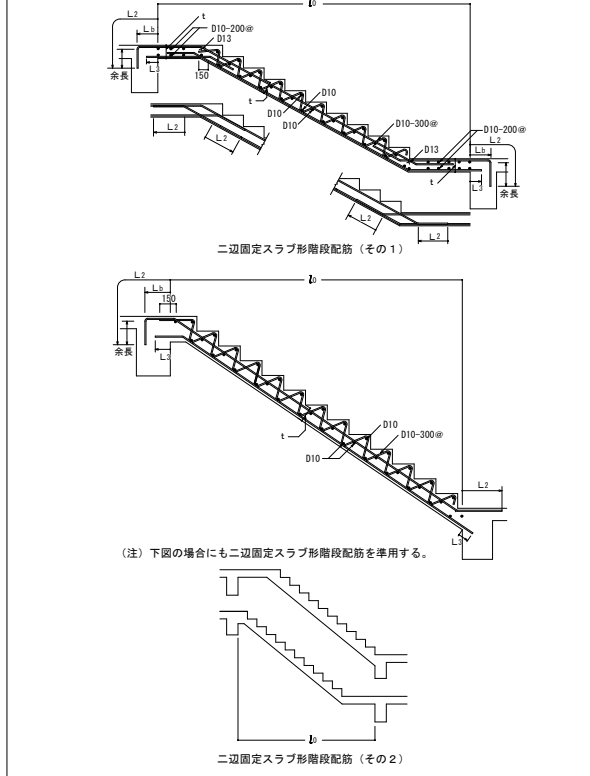
1. 片持ちスラブリ階段



2. 二辺固定スラブリ階段

二辺固定スラブリ階段の基準配筋

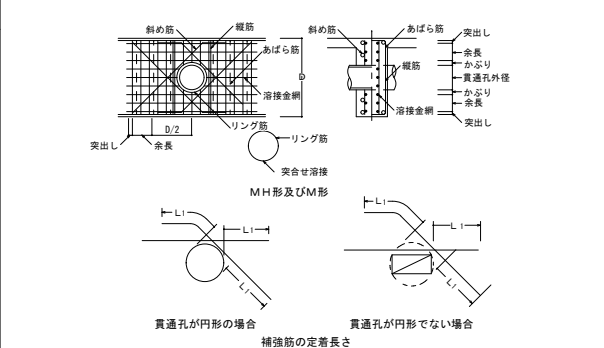
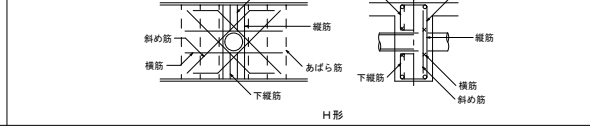
配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		



梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3(Dは梁せい)の範囲に設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D(Dは梁せい)以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 溶接金網の余長は1格子上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



2. 梁貫通孔の補強形式

H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし				
H 2	2-2-D13				
H 3	4-2-D13				
H 4	4-2-D16				
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13		
M 3	4-2-D13		
M 4	6-2-D13	2-6φ-100@	

(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

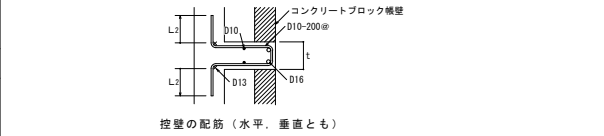
MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし			
MH 2	2-2-D13		なし	
MH 3	2-2-D13			
MH 4	4-2-D13		2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16			
MH 7	4-2-D19		4-2-D13 2-6φ-100@	

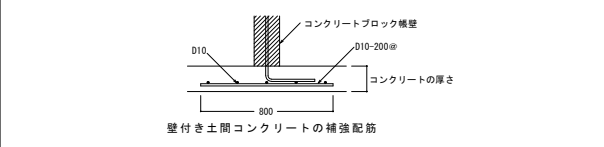
(注) --- は、一般部分のあばら筋を示す。

3. コンクリートブロック壁との取合い

1) 控壁の配筋



2) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

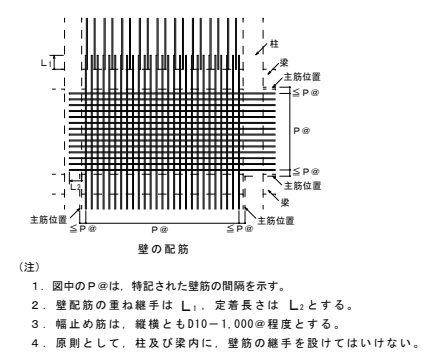
2) 片持ちスラブリ階段を受ける壁の基準配筋

片持ちスラブリ階段を受ける壁の基準配筋

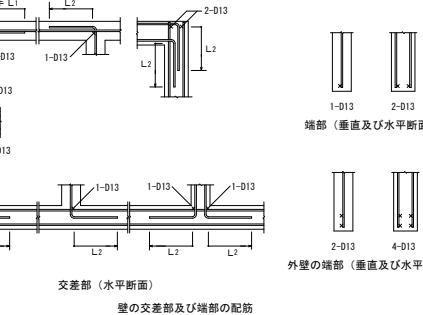
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。



4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)

壁の種別	補強筋	
W12, W15	縦筋 1-D13	斜め 1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

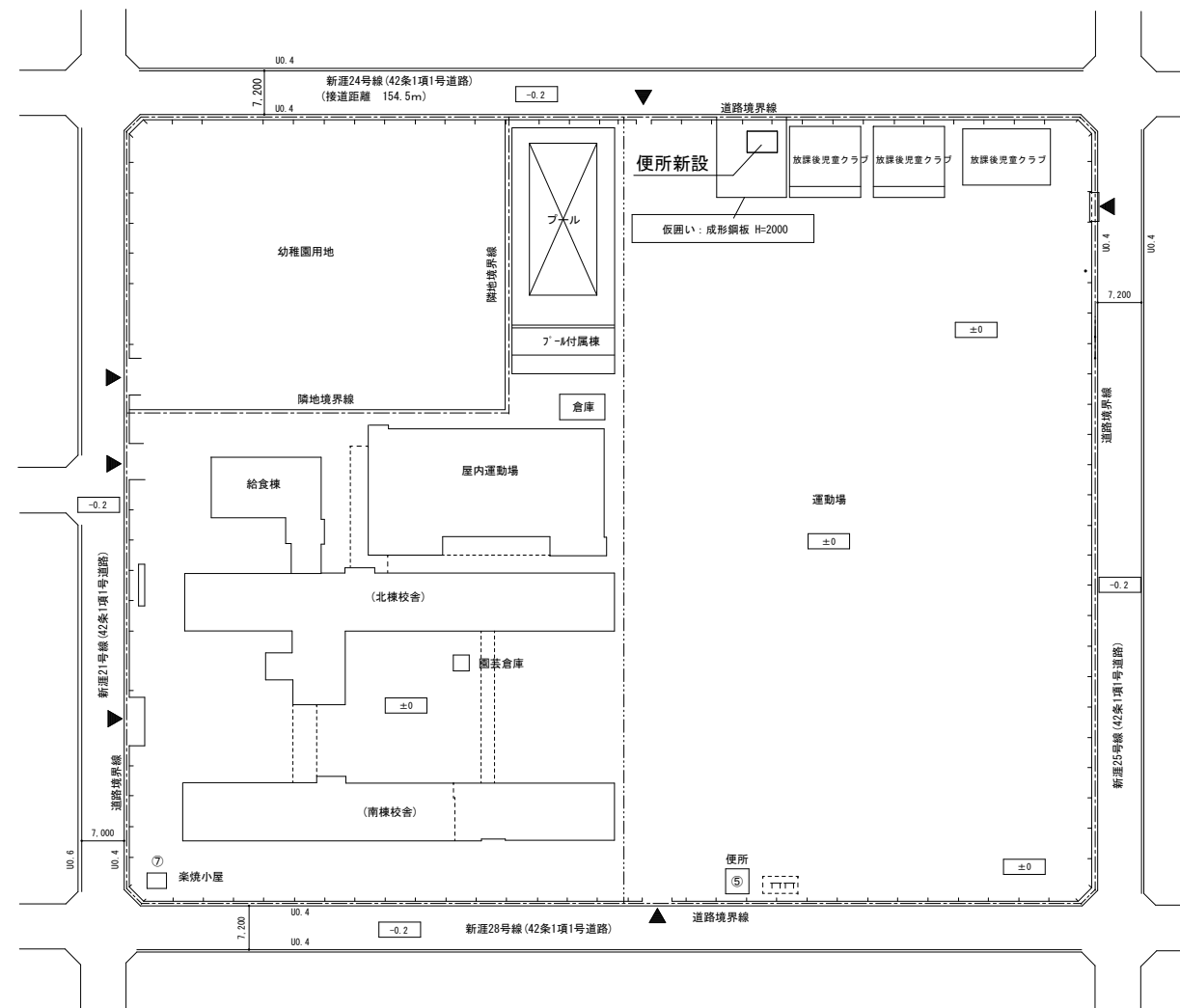
壁開口部補強筋 (B形)

壁の種別	補強筋	
W12, W15	縦筋 2-D13	斜め 1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

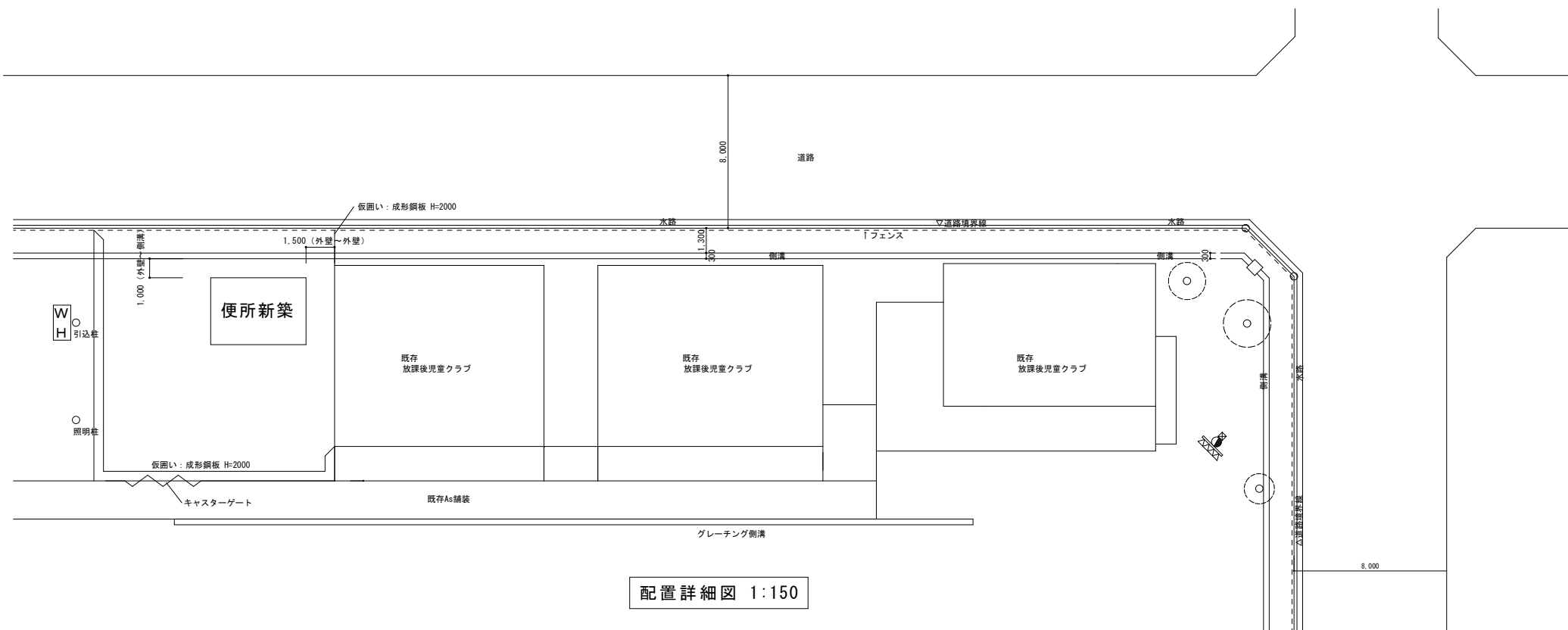
工事名称 新浜放課後児童クラブ便所棟新築工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2


〇〇設計事務所 2023年10月 図面No. A-8

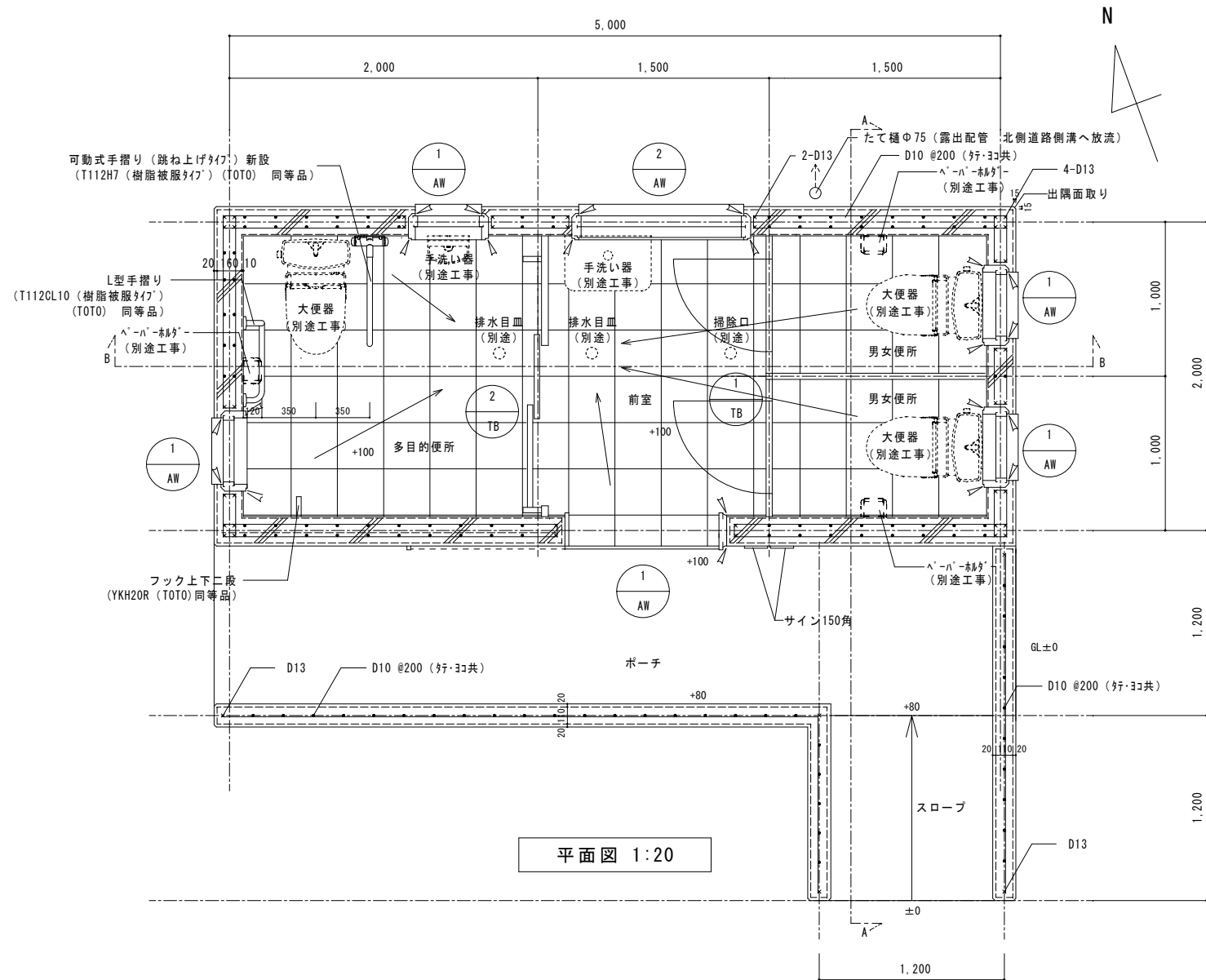


配置図 1:600

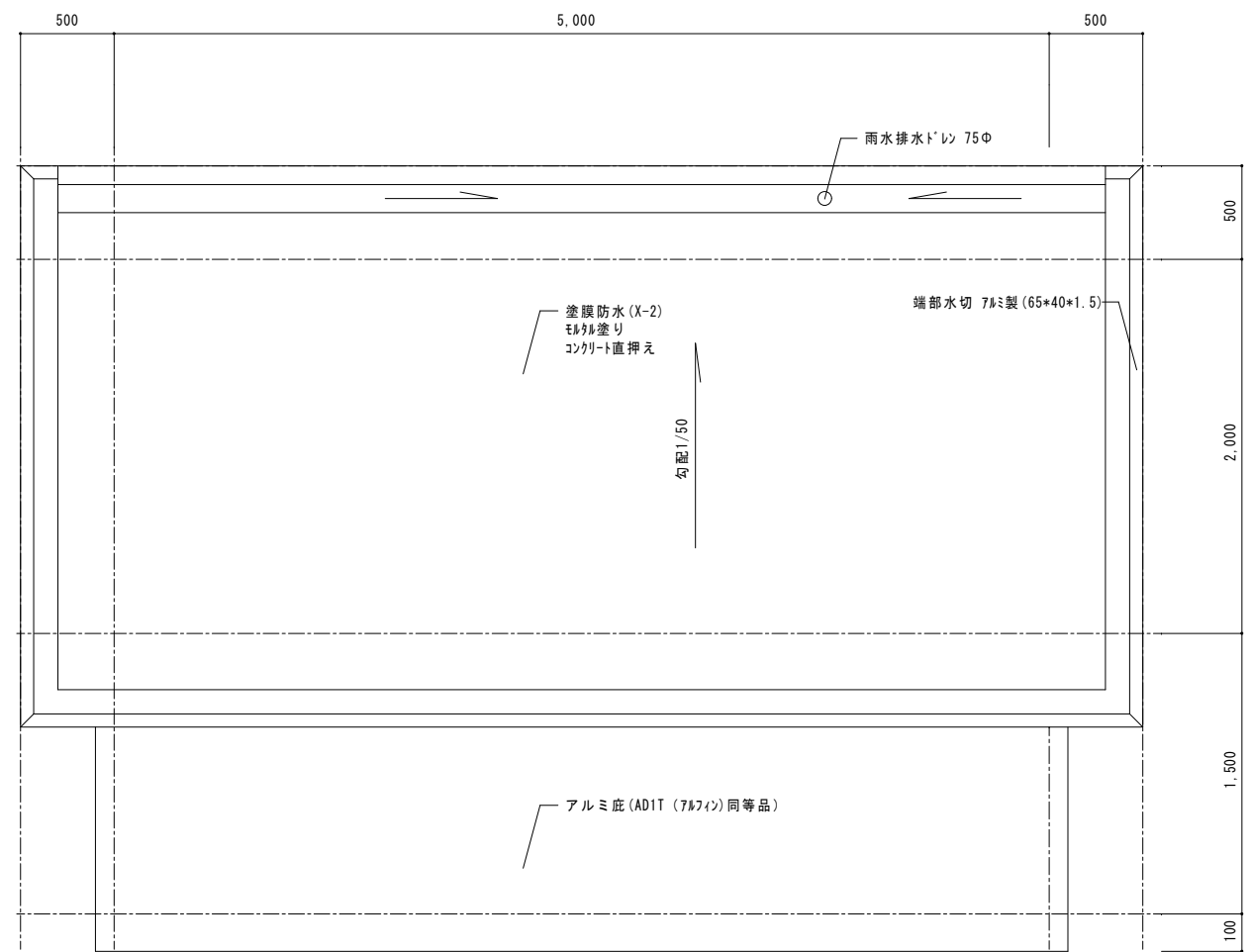


配置詳細図 1:150

工事名		新道放課後児童クラブ便所棟新築工事				 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課						図面No.
図面名称		配置図	縮尺 1:600	道路	主務	課員	次長	担当課長	課長	部長	A-9	
		配置詳細図	1:150	2023年10月								



平面図 1:20



屋根伏図 1:20

外部仕上表

屋根	コンクリート直押え 塗膜防水 (X-2) 端部：アルミ製水切金物
軒裏	コンクリート打放しのうえ素地ごしらえ (A種) 耐候性塗料塗り (3級)
外壁	コンクリート打放しのうえ素地ごしらえ (A種) 耐候性塗料塗り (3級)
幅木	コンクリート打放し 撥水材塗り H=300
ポーチ庇	7&7庇 樋あり (ADIT (7&7イン) 同等品)

鉄筋リスト

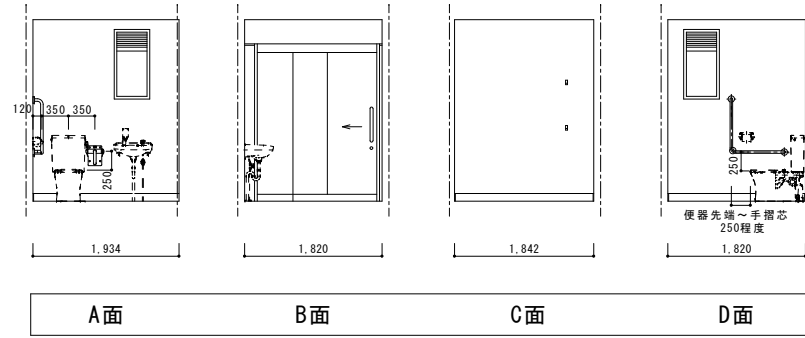
記号	●	×
種類	D10	D13

内部仕上表

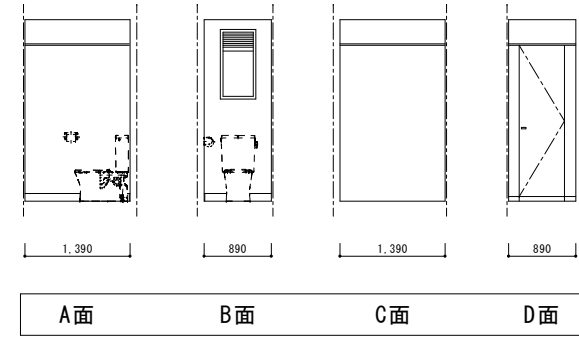
室名	床	幅木	幅木H	壁	天井
全室・男女便所 多目的便所	300角磁器質施釉タイル タイル接着剤張り 300×100 磁器質施釉 セメントモルタルによる圧着張り	タイル接着剤張り 300×100 磁器質施釉	100	素地ごしらえ (A種) つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	素地ごしらえ (A種) つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
ポーチ	コンクリート剛毛引き仕上げ				

展開図 1:50

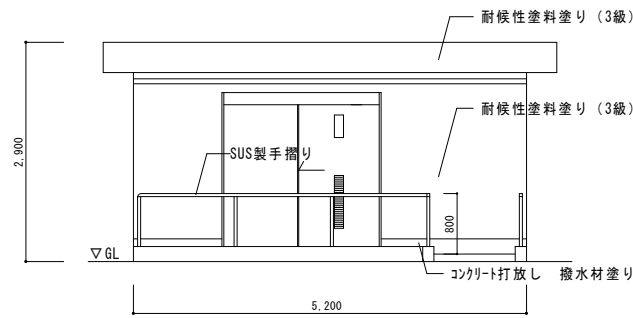
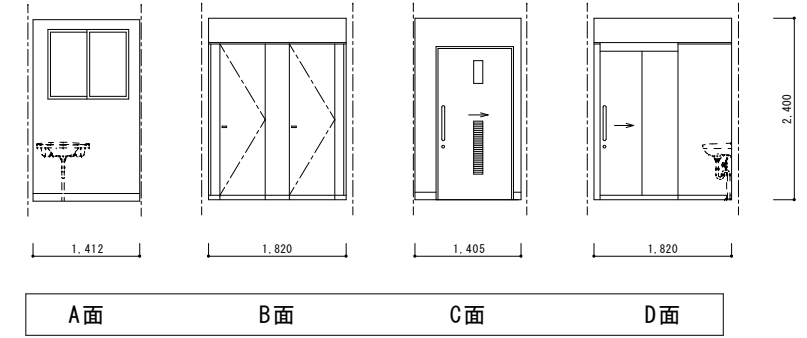
多目的便所



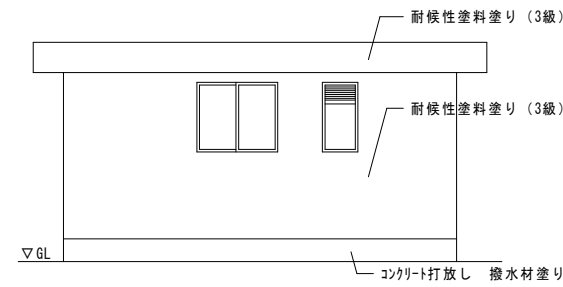
男女便所



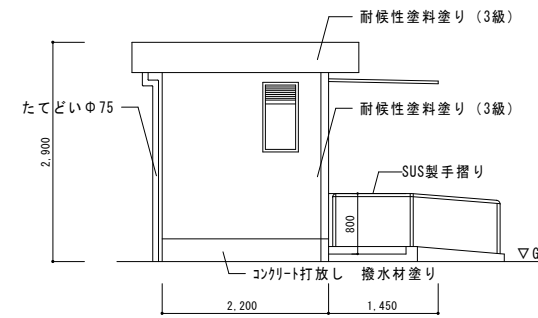
前室



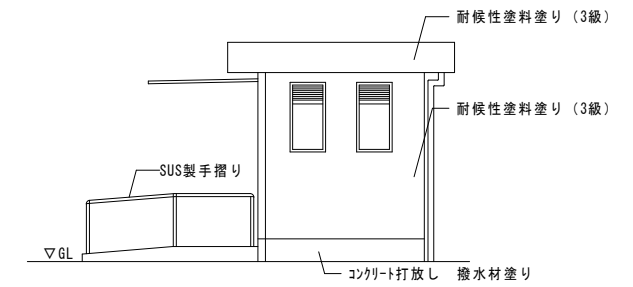
南立面図 1:50



北立面図 1:50



西立面図 1:50

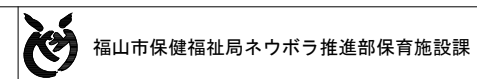


東立面図 1:50

建具図 1:50

記号・数量	①SD	1	①TB	1	②TB	1	①AW	4	②AW	1
断面										
材質・見込	化粧鋼製 (FIX窓・ガラス付) ハンガー戸 70 心材: A・A-C7		アルミ化粧板 (7&Mエッジ) ハンガー戸 心材: A・A-チヨウキクド 厚30		アルミ化粧板 (7&Mエッジ) ハンガー戸 心材: A・A-チヨウキクド 厚40		7&M製FIX窓 (ガラス付) 70		7&M製引違窓 70	
ガラス	強化型板ガラス t=4.0						強化型板ガラス t=4.0		強化型板ガラス t=4.0	
附属金物	シリコン塗銀錠 (内部空錠, 大型ハンドル付) SUS鎖錠		グレヒテレビンジ, スライド表示錠, ケースハンドル		シリコン塗銀錠 (大型ハンドル付)		7&M鎖錠 (四方) 7&M水切		ルセント錠, 7&M鎖錠 (四方) 7&M水切	
備考	鋼製ガラス 150×800 制動装置, 自閉装置, 戸当り緩衝材, 指つめ防止材		幅木 (SUS), 笠木 (SUS)		幅木 (SUS), 笠木 (SUS) 制動装置, 自閉装置, 戸当り緩衝材, 指つめ防止材					

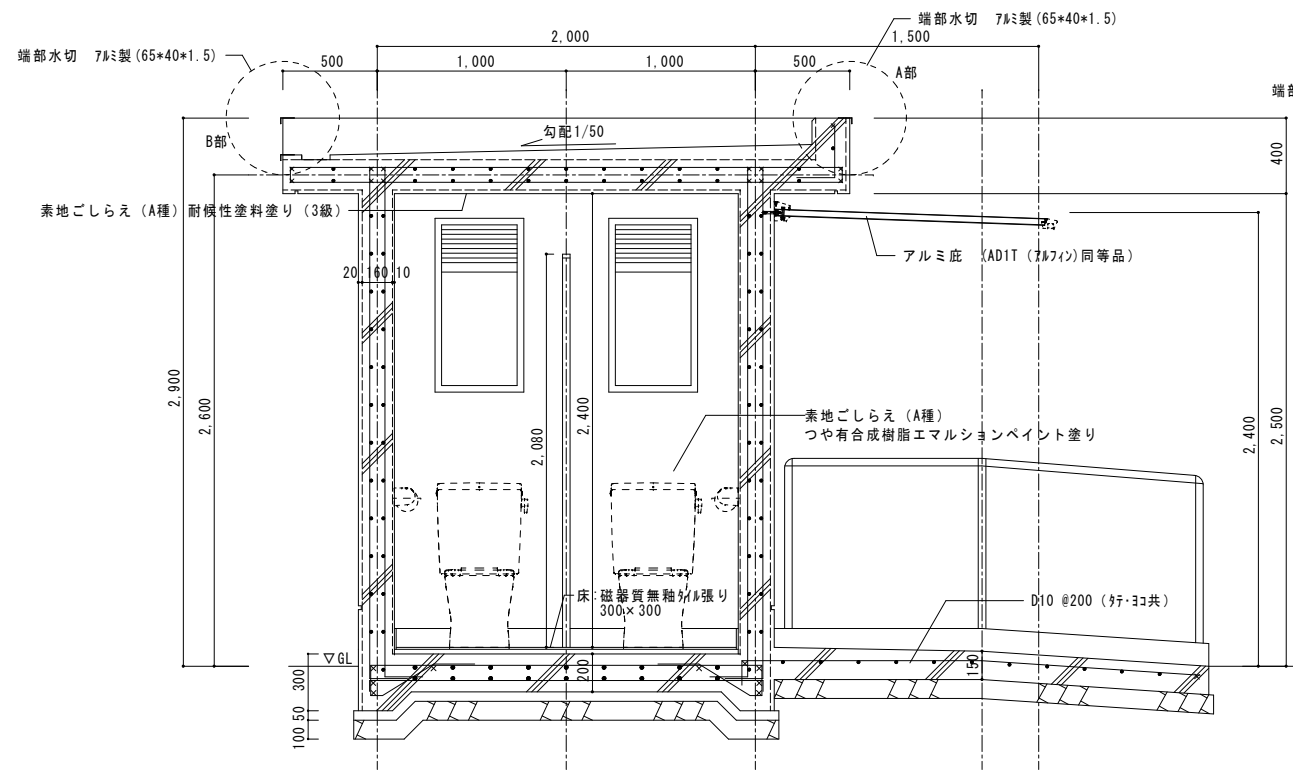
工事名 新渚放課後児童クラブ便所棟新築工事



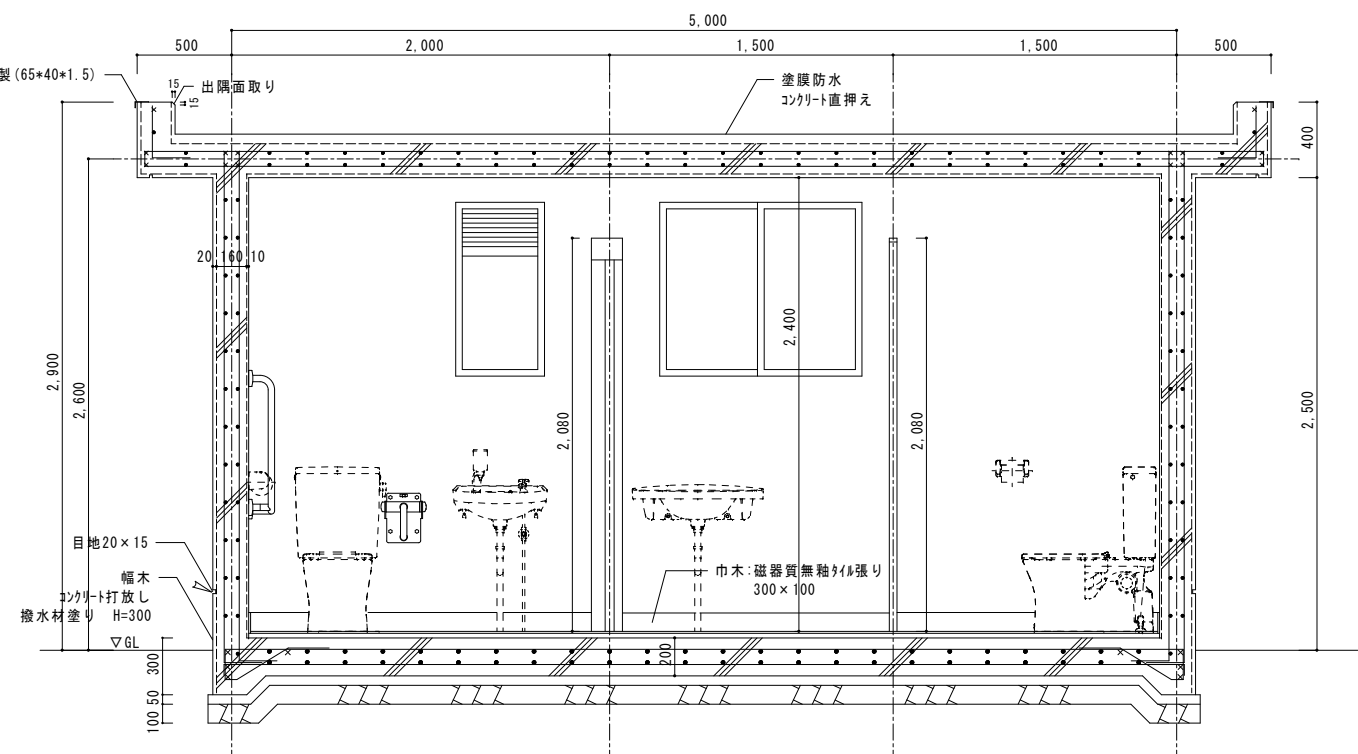
図面名称 展開図, 立面図 縮尺 1:50 2023年10月

主務 課長 次長 担当課長 課長 部長

図面No. A-11

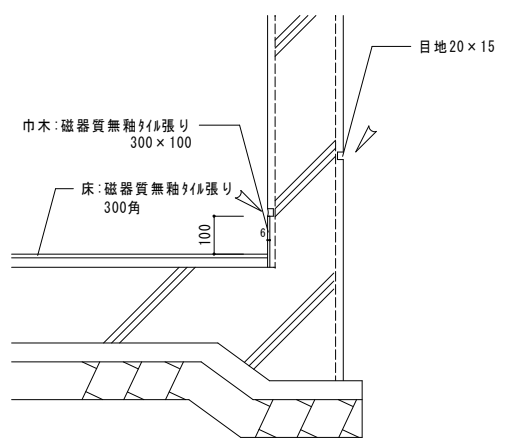


A-A断面図 1:20

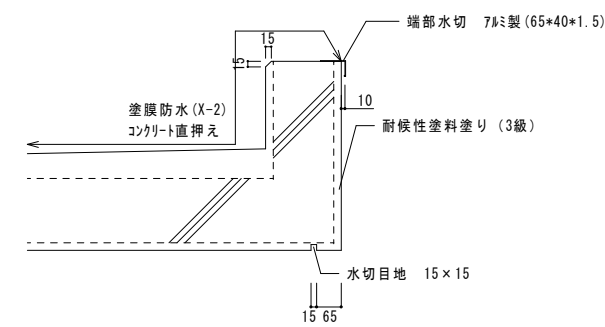


B-B断面図 1:20

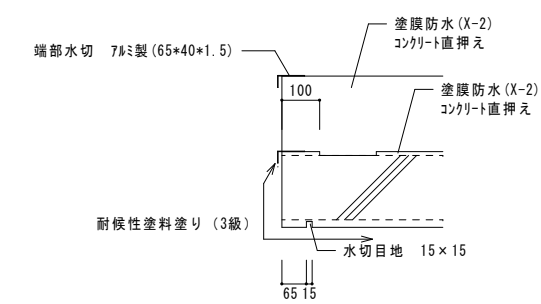
* べた基礎	・スラブ t=200 D10ダブル配筋 @200
* 鉄筋種別	・JIS G 3112 SD295A D10, D13
* コンクリート強度	・4FC=21+6-S15 (基礎、屋根スラブ) ・4FC=21+6-S18 (躯体)
* 捨コンクリート強度	・4FC=18-S15
* 砕石地業	・再生砕石40mm以下
* 埋戻し及び盛土	・種別B種



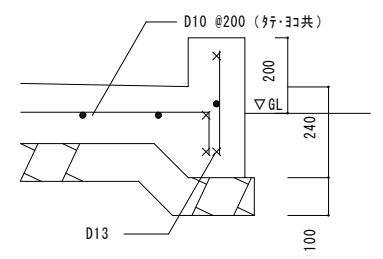
壁-床詳細図 1:10




A部詳細図 1:10



B部詳細図 1:10



木-ナ立上り詳細図 1:10

工事名		新渚放課後児童クラブ便所棟新築工事			 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課						図面No.
図面名称		断面図	縮尺 1:20	2023年10月	主務	課長	次長	担当課長	課長	部長	A-12
		詳細図	1:10								

参考数量書

§ 工事名称 新涯放課後児童クラブ便所棟新築工事

§ 工事場所 福山市新涯町三丁目18番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 新涯放課後児童クラブ便所棟新築工事

工事場所 福山市新涯町三丁目18番1号

【工事概要】
・便所棟新築工事 一式
鉄筋コンクリート造 平家建 10.0㎡

【別途工事】
・電気設備工事 一式
・給排水衛生設備工事 一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
便所新築工事		1		式					
計									

建築主体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
便所新築工事	直接仮設工事	1	式		
便所新築工事	土工事	1	式		
便所新築工事	鉄筋工事	1	式		
便所新築工事	コンクリート工事	1	式		
便所新築工事	型枠工事	1	式		
便所新築工事	防水工事	1	式		
便所新築工事	タイル工事	1	式		
便所新築工事	金属工事	1	式		
便所新築工事	左官工事	1	式		
便所新築工事	建具工事	1	式		
便所新築工事	ガラス工事	1	式		
便所新築工事	塗装工事	1	式		
便所新築工事	樋工事	1	式		
便所新築工事	雑工事	1	式		
便所新築工事	廃棄物運搬処分	1	式		
計					

建築主体工事		便所新築工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
隅遣方		8	か所			
墨出し	小規模 RC・SRC造 地上階	17.4	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 地上階	17.4	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 RC・SRC造 地上階	17.4	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	95.9	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用60日賃料 修理費含む 12m未満 - -	95.9	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	95.9	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	37.6	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	37.6	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用60日賃料 修理費含む -	37.6	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	37.6	m			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	37.6	m			
養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間 - -	95.9	m ²			
養生シート張り	防災Ⅰ類 供用60日賃料 修理費含む - -	95.9	m ²			
養生シート張り	防災Ⅰ類 基本料 修理費含む - -	95.9	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		95.9	m ²			
内部躯体足場	掛払い手間 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	16.8	m ²			
内部躯体足場	供用30日賃料 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	16.8	m ²			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	16.8	m ²			
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	16.8	m ²			

建築主体工事		便所新築工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場	供用20日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下	16.8	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	16.8	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	16.8	m ²			
計						

建築主体工事		便所新築工事	土工事			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	7.9	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	5.7	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
砂利地業	再生クッション	1.9	m ³			
計						

建築主体工事		便所新築工事		鉄筋工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
異形鉄筋	D10 SD295A	1,255	kg			
異形鉄筋	D13 SD295A	354	kg			
鉄筋加工組立費		1	式			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	1.6	t			
計						

建築主体工事		便所新築工事		コンクリート工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
捨てコンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	0.9	m3			
基礎コンクリート	JIS A5308 呼び強度21+6 S15 粗骨材20	3.8	m3			
壁コンクリート	JIS A5308 呼び強度21+6 S18 粗骨材20	6.5	m3			
屋根コンクリート	JIS A5308 呼び強度21+6 S15 粗骨材20	4.6	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 — S15～S18	1	式			
コンクリート打設手間	基礎部 人力打設 S15～S18	1	式			
コンクリート打設手間	壁部 人力打設 S15～S18	1	式			
コンクリート打設手間	屋根部 人力打設 S15～S18	1	式			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	15.8	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金		2	回			
コンクリートポンプ車 運転	ゲーム式ポンプ車 20m3未満 S15～S18	15.8	m3			
計						

建築主体工事		便所新築工事		型枠工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
捨てコンクリート用型枠		1	式			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	7	m ²			
型枠	打放合板型枠A種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	97.7	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	105	m ²			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	14.8	m			
型枠目地棒	水切目地 幅15 × 深さ10程度	17.5	m			
面木		40.4	m			
打放し面補修	B種 コン処理 部分目違いばらい	7	m ²			
打放し面補修	A種 コン処理 目違いばらい無	97.7	m ²			
計						

建築主体工事		便所新築工事		防水工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 密着工法 平部	18	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 密着工法 立上り	1.7	m ²			
シーリング [*]	一般部 シリコン系(SR-1)防かびタイプ 10×10	17.5	m			
シーリング [*]	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	6.6	m			
シーリング [*]	一般部 ポリサルファイト [*] 系(PS-2) 30×10	13.3	m			
シーリング [*]	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	43.4	m			
計						

建築主体工事	便所新築工事				タイル工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	8.8	m ²			
床タイル張り	大型床タイル張 材工共 - 300mm角 圧着張り	8.8	m ²			
内装幅木タイル張り	300×100	13.3	m			
計						

建築主体工事		便所新築工事			金属工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根端部水切 65×40×1.5	アルミアングル	18	m			
アルミ庇	D1, 500W5, 200	1	か所			
ホーチ手摺り	HS SUS304 φ34	7.4	m			
計						

建築主体工事		便所新築工事			左官工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建具周囲 モルタル充填	内部建具	37.6	m			
計						

建築主体工事		便所新築工事		建具工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製引戸	SD-1	1	か所			
トイレブース	TB-1	1	か所			
トイレブース	TB-2	1	か所			
FIX窓 上部がらり付	AW-1	4	か所			
引違い窓	AW-2	1	か所			
計						

建築主体工事		便所新築工事		ガラス工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型板ガラス	厚さ4 シーリング 特寸 2.18㎡以下 清掃共	1.9	㎡			
計						

建築主体工事		便所新築工事		塗装工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
下地調整費	コンクリート	75.8	m ²			
素地ごしらえ	コンクリート面 工程A種	75.8	m ²			
基礎幅木 打放し保護仕上げ	浸透性吸水防止材 アクリルシリコン樹脂、クリアー	3.92	m ²			
ボーチ立上り 打放し保護仕上げ	浸透性吸水防止材 アクリルシリコン樹脂、クリアー	4.55	m ²			
DP塗り	耐候性塗料(DP)塗り C種 素地ごしらえ別途	44.8	m ²			
EP-G塗り	コンクリート面 素地別途	40.7	m ²			
計						

建築主体工事		便所新築工事			雑工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
L型手摺取付	T112CL10 TOTO同等品	1	か所			
跳ね上げ式手摺取付	T112H7 TOTO同等品	1	か所			
多目的トイレフック取付	TOTO YKH20R同等品	2	か所			
案内サイン取付		2	枚			
計						

建築主体工事		便所新築工事			廃棄物運搬処分	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設廃材運搬費	建設発生土	2.2	m3			
建設廃材処理費	建設発生土	2.2	m3			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m -	21.5	m			
仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m -	21.5	m			
仮囲い	賃料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	21.5	m			
仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	21.5	m			
仮囲い運搬	H=2.0m	21.5	m			
キャスターゲート	W6000×H1800 片開き 架払い手間，運搬費，維持管理費共 3ヶ月	1	か所			
計						